

愛媛県柏川で採集されたハシリイワガニモドキ

山川宇宙¹・森口宏明²・清水孝昭³・山下龍之丞⁴・山本貴仁⁵

¹ 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻 ² 株式会社環境アセスメントセンター

³ 愛媛県農林水産研究所水産研究センター

⁴ 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻 ⁵ 西条自然学校



写真1 *Metopograpsus thukuhar* (Owen, 1839)
ハシリイワガニモドキ (TKPM-AR 3531)

種の記録

Grapsidae イワガニ科

Metopograpsus thukuhar (Owen, 1839)

ハシリイワガニモドキ (写真1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本 (TKPM-AR) 3531, 1♀, 甲長 20.6mm, 甲幅 26.2mm, 柏川(愛媛県南宇和郡愛南町柏), 2025年9月22日, 山川宇宙採集.

種の特徴

上記標本は、甲が四角形に近く、その表面は平滑で光沢があり、淡い緑色の斑をもつ。額域には3本の縦溝がある。前側縁には明瞭な歯がない。後側縁は下方で著しく狭くならない。大触角の基部上面に軟毛が密生する。第2-3歩脚前節は軟毛面を欠く。以上の形態学的特徴が、仲宗根・伊礼(2003)および三浦(2008)のハシリイワガニモドキの特徴と一致したため、本種に同定された。

備考

本種は従来、国内では紀伊半島から琉球列島にかけて記録されていたが(三浦, 2008), 近年は静岡県や神奈川県においても発見されている(伊藤, 2020; 伊藤・崎山, 2024)。愛媛県からは、愛南町の僧都川で2007年10月に採集された1標本のみが知られていた(外山, 2018)。本稿は生息情報の乏しい本種の同

県2例目の記録となる。本研究の標本は、柏川の河口から約60m上流の左岸において、砂礫底上にあった直径40cm程の岩の下から採集された。同地点は満潮時には海水流入により水没するが、採集時は干潮に近く、岩は干出していて、他にも本種5個体が岩の下で見られた。また、翌日の満潮に近い時間帯には、柏川河口域や隣接する柏崎漁港のコンクリート壁面上で本種約5個体が観察された。第1著者は2025年4月15日にも同地を訪れているが、その際には本種は確認できていない。同じ愛南町の僧都川においても秋季にのみ記録されていることも考慮すると、同町では本種は越冬しておらず、夏季以降に南方からの海流分散を介して出現している可能性が高い。

謝辞

標本の登録を行っていただいた徳島県立博物館の鈴木佑弥学芸員に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 伊藤寿茂. 2020. 駿河湾初記録となるハシリイワガニモドキ *Metopograpsus thukuhar* (Owen, 1839) (甲殻類: 十脚目: イワガニ科). 神奈川自然誌資料, 41: 17-20.
- 伊藤寿茂・崎山直夫. 2024. 相模川河口域における希少種を含むカニ類8種の注目すべき追加記録. 水生動物, 2024: AA2024-14.
- 三浦知之. 2008. 干潟の生きもの図鑑. 南方新社, 鹿児島. 197pp.
- 仲宗根幸男・伊礼美和子. 2003. イワガニ科. 西田 睦・鹿谷法一・諸喜田茂充(編), 琉球列島の陸水生物. 東海大学出版会, 秦野. 272-282.
- 外山真樹. 2018. 三浦知之氏寄贈甲殻類標本目録. 宮崎県総合博物館研究紀要, 38: 5-72.

(2025年11月7日受付, 2025年11月8日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com)
(Uchu Yamakawa, Hiroaki Moriguchi, Takaaki Shimizu, Ryunosuke Yamashita and Takahito Yamamoto. 2025. *Metopograpsus thukuhar* (Grapsidae) collected from the Kashiwa River, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 25030)